

マルメ研修感想文

アップルデンタルセンター
歯科衛生士 小林麻紀

歯科衛生士学校を卒業して3ヶ月でこのような海外研修に参加でき、本当に貴重な体験をさせていただきました。多くの先生の講義を受け、私にはまだ難しいお話もありましたがたくさんの事を学び、スウェーデンの歯科医療、学生の教育がどのように行われているのかがよくわかりました。

この研修を通して、自分の無知さと日本の歯科衛生士学校のレベルの低さを改めて実感しました。スウェーデンの歯科衛生士は2年勉強して独り立ちできるのに対して、日本の歯科衛生士は3年も勉強しているのにも関わらず即戦力として働ける人が少ない、このことに恥ずかしさと悔しさが募ります。

日本の歯科衛生士の教育は無駄なことが多いように感じます。日本の歯科を変えていくにはまず学校から変えていかなければいけないのではないのか、と思いました。基礎をしっかり固め、学生のうちから患者さんを相手にする機会が増えれば卒業後即戦力として働き、より多くの知識と技術が身につけられると思いました。本来歯科衛生士はどうあるべきなのか、というのを学べる学校が増えると良いなと思います。

スウェーデンの歯科衛生士で驚いたことはエックス線撮影の他に、診断や麻酔が行えるということです。日本の場合できないことが多くこれらのことが出来るようになれば歯科医師の時間を奪うことなく、もっと効率よく診療が進められるのではないかと思います。また、ただお口をきれいにしてくれる人というイメージを壊し、衛生士の仕事はそれだけではないってことを多くの人に知ってもらい、衛生士のイメージをいい方向に上げられたら良いなとも思いました。スウェーデンの様に色々なことが出来れば今以上に患者さんからの信用が得られもっと深く信頼関係が築けるのではないかと思います。

マルメ研修で私が一番恥ずかしく思ったのが、スケーリング、SRPの実習が思うようにできなかったことです。まだ3ヶ月だし...と甘えた考えを持っていましたが、一応勉強してきているのに全く身につけていないことがすごく恥ずかしかったです。

今は中途半端な知識・技術しかありませんが、この経験を生かし日々向上していけるよう勉強に励みたいと思います。